



▲第1回委員会では、事業計画などを議題としました

第71回 アジア太平洋防災閣僚級会議／防災局等誘致編

古今東西
くんとくんと
行きます!

郡市長がさまざまな現場を訪問し
市民の皆さまの活動の様子な
どをお伝えします

今回は、防災・減災に関わる本市の重要な取り組みである、アジア太平洋防災閣僚級会議仙台開催実行委員会の設立と、防災局などの誘致活動についてお伝えします。

来秋に向けて万全の準備を

来年秋に、国連防災機関が主催する国際会議「アジア太平洋防災閣僚級会議」が本市で開催されます。この会議は、アジア太平洋地域をはじめとする約60カ国の防災担当閣僚などが一堂に会し、平成27年の第3回国連防災世界

会議で採択された世界的な防災指針「仙台防災枠組2015-2030」の進捗状況や課題などについて議論する、大変重要な場です。市では、会議に向け、5月26日に「アジア太平洋防災閣僚級会議仙台開催実行委員会」を設立、第1回委員会を開催しました。本委員会は国や県をはじめ、東北大学

や地元経済界、観光関連事業者などで構成。会議が円滑に進められるよう支援するとともに、関連事業や歓迎事業の企画・運営、開催機運の醸成などを行うこととしています。

こうした大規模な会議の開催は、仙台・東北の魅力により広く知っていただき、交流人口の拡大や地域経済の発展につながる絶好の機会でもあります。これまでも本市では、第3回国連防災世界会議、G7の関係閣僚会合、観光レジリエンスサミットなどの国際会議が行われ、東日本大震災の経験や教訓とともに、仙台・東北の豊かな食や文化などの魅力も発信してきました。その経験を生かしながら、各国から参加される皆さまを万全の体制でお迎えできるように、産学官が丸となって着実に準備を進めてまいります。

また、会議の成功に向けては、市民の皆さまのご理解・ご協力も欠かせません。今後、イベントなどを通して会議開催の機運を高め、市民の皆さまと共に改めて防災・減災について考える機会としたいと思っています。

防災局の誘致活動も本格化

現在、国において、防災体制を抜本的に強化するため、防災に関する基本的政策の立案や事前防災の推進、災害対応の司令塔の役割を担う「防災庁」の設置に向けた動きが進められています。また、その地方機関の「防災局」や「防災大学校（仮称）」の設置が予

定されています。

市では、この防災局などを仙台・宮城に誘致するため、5月26日に「宮城県・仙台市防災局等誘致推進協議会」を設立しました。

本市は、東北大学災害科学国際研究所などの研究環境が充実していることに加え、市民の皆さまや産学官との連携により、数多くの防災・減災の取り組みを進めています。防災局などの誘致により、東日本大震災の経験から得た高い知見を国全体の災害対応力の向上に生かすことができ、地域の防災力のさらなる強化や人材育成の推進、関連産業の発展につながります。

協議会では、6月9日に国への要望を行いました。引き続き、誘致実現に向け取り組んでいきます。



▲協議会から牧野復興大臣に要望書を提出

防災環境都市・仙台を世界へ

災害は、今なお国内外で発生しています。東日本大震災から15年、「より良い復興」を進めてきた経験や取り組みを広く伝え、日本の、そして世界の防災・減災に貢献することは、防災環境都市を掲げる本市の重要な役割です。その上で今回ご紹介した2つの取り組みは、大変意義があるものであり、これらを通して本市の存在感をより一層高め、「世界から選ばれるまち」となるよう、力を尽くしてまいります。



再生紙を使用しています。紙へリサイクルできますので、雑誌として分別してください。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。